

人権は決して無力ではない

戦争は最大の人権侵害だと言えます。現在、ウクライナでは日常が壊され、何の罪もない人々が武力紛争で命を落としています。病院や学校なども標的となり破壊されています。戦争では人権が完全に無視され、人の命が簡単に奪われます。こんな悲しいことはありません。侵略者の前に人権という言葉はあまりにも無力ですが、一方で世界中から人道支援が行われています。人権は決して無力ではありません。人を思いやる一人ひとりの人権意識が人々を救い平和を作ります。だからこそ、私どもは人権を平和を訴え続けます。



私たちは、ウクライナの人々のために何ができるか

戦地から避難する人々への支援を

先月(2月)24日から始まったロシアによるウクライナ侵攻により、今月11日時点で約250万人余の人々がウクライナから近隣諸国等に避難しています。今後、避難者は400万人を越すだろうともいわれています。

国連の難民高等弁務官事務所 (UNHCR) によれば、同国の戦地から避難してきた人が必要としている人道的支援は、シェルター(安全な住処)や食料、衣料などの日用品、教育や医療、社会心理的ケアなど多岐にわたります。(※1)

ちなみに、我が国が2011年の東日本大震災で被災した時には、世界126の国と地域・機関から総額約175億円以上の物資・寄附金、その他の人道的支援を頂きました。私たち日本国民も今、ウクライナの人々のためにできる限りの支援をすべきと思います。

ウクライナ国民への人道的支援に係る義援金・募集活動は、日本赤十字社や国連 UNHCR 協会など様々な公的機関により行われています。また本県でも、県庁本館や多くの市町村で募金箱を設置するとともに、日本赤十字社の「ウクライナ人道危機救援金」の専用振込用紙を備えています。(※振込用紙の半券を受領書証として、確定申告時に税制上の減額措置を受けることができます。)

また、日本政府は今月15日、ウクライナからの避難民の受け入れ策として、日本国内に親族や知人(身元保証人になってくれる人)がいる人だけでなく、いない人たちを受け入れたり支援したりする意向のある自治体や企業とつなげる枠組みを設ける方向で検討を進めることになりました。そのために出入国在留管理庁は、自治体や企業、団体に対して、支援の具体的な内容をメールで送付するよう呼びかけています。(※2)

民間企業でも、例えばセイノー・ホールディングス株式会社(旧・西濃運輸)は、政府が入国を認めた避難民を対象に、住居(社宅・約290戸)と仕事を提供する、といった動きが全国各地で出始めています。県内でも、富士吉田市や山梨市、都留市、韮崎市などが、ウクライナからの避難者を市営住宅などで受け入れる方針を打ち出しています。

今後わが国にも、そして県内にも、戦火を逃れて避難してくるウクライナの人々が相当増えてくると思います。それらの人々に対しても、義援金や物資、住まいなどの提供や、就労、教育、福祉など様々な面で、官民が協力して支援していければと思います。

また、これを機会に、世界各地で起きている紛争や迫害等により被害を受けている人々に思いをはせて支援する新たな契機にしていくことが望まれます。

(※1) 国連・難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所「ウクライナ緊急事態」サイト



(※2) 出入国在留管理庁「ウクライナから日本への避難民に対して支援の提供を検討されている地方公共団体及び企業・団体のみなさんへ」



人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合

<協賛>
山梨県
甲府市
甲斐市

甲府市立千塚小学校 (男子)

『人権講話』

名前()

人権は「命」と「執」を守るための権利ということ
 が今日の話をわかりました。
 今まで「人権」というのは、素晴らしいものかと思って
 いたけど、今からあまり素晴らしいことではないと
 分かりました。私は、これから人のために
 なることをしたいと思いました。人権やMSF
 はとても大切なことだと知り、MSF(国境なき医師団)
 はとても大切で、大変な仕事なのも分かりました。
 今回1分でも1秒でも、人権のことをわかってはためたこと
 いかんことを伝えました。
 これから、まわっている人から声をかけ
 且かけあかたいと思いました。
 人権の意味をわすれずに生きていきたく
 いと私は思いました。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立千塚小学校 (女子)

『人権講話』

名前()

人権 = 命を守る権利、幸せを守る権利
 だということをしつと頭に入れておきたいです。
 「国境なき医師団」は、自分の命も危ない
 のに人を助ける勇気や正義感がすごいと思
 いました。わたしは、しょうお医者さんになりたい
 です。日本で仕事を好むもいけど、「国境なき
 医師団」のようにとても勇気ある仕事をして
 みたいと思ひました。でも「仕事」というのは人の
 役に立つ仕事だから私は、どんな仕事でも
 一生けん命がんばりたいと思ひました。今日の
 お話などを通して「人権」というのは本当に
 大切なことで、人に関わることだと思ひ
 ました。